

## 移住した皆さんに インタビュー

# ようこそ

## 小野町

団塊の世代が大量退職する時期を迎え、全国の多くの自治体が田舎暮らしを希望する方の受け入れを積極的に行うようになりました。

小野町では、平成16年より、商工会が中心となって「小野町ふるさと暮らし支援センター」を立ち上げています。支援センターは全国に先駆けて、田舎暮らしの受け入れを始めており、取り組みが紹介されることも度々あります。

今回は、支援センターが実施した田舎暮らし体験ツアーをきっかけに町へ移住したご夫妻をご紹介します。

### ◆いつ小野町へ移住しましたか？

平成17年に埼玉県から移住しました。

### ◆なぜ移住しようと思いましたか？

移住前は、仕事が忙しく、家族と過ごす時間もなかなかとれませんでした。ゆったりとした生活を望んでいたこと、農業に興味を持っていたことから、田舎での暮らしを考えるようになりました。



渡邊光雄さん、節子さんご夫妻  
(上羽出庭行政区)

### ◆どのように移住先を決めましたか？

実家が東京と岩手にあるので、その中間地点である福島県の郡山周辺を移住先として探していました。小野町役場に問い合わせたときに、ふるさと暮らし支援センターを紹介されました。

支援センターが主催する田舎暮らし体験ツアーに誘われて、参加することにしました。ツアーの懇談会で様々な話をしたことが、移住の良いきっかけになりました。



お庭に咲く花を楽しむことも田舎暮らしの醍醐味の一つです。

### ◆移住後の生活はいかがですか？

仕事もしているのですが、全てが田舎暮らしではありませんが、温泉めぐりや山菜採りなど、都会では味わえない時間を楽しんでいます。地元の人たちとそば作りにも取り組んでいます。移住して、付き合いの範囲も、行動の範囲も広がったと思います。

### ◆小野町の魅力は何ですか？

空気と自然と人の温かさだと思います。また、田舎暮らしの受け入れを民間がやっていることは強みだと思います。相談がしやすかったし、率直な意見を聞くことができました。

お忙しい中、インタビューにご協力いただきありがとうございました。